# ■生徒作品

握手

面会に来てくれた父さんと母さんと 生まれて初めて別れの握手をした 父さんの手は冷たく 母さんの手は震えていた 父さんの涙を初めて見た 反発ばかりしていた母さんに 「頑張るよ」と素直に言えた 何かが変わったと思った 渡り廊下で空を見ると 青空に白い雲が浮かんでいた 涙が止まらなくなった 父さん 母さん ごめんなさい

優しい目 いつも正面から見てくれたね お父さん 時にはするどく・・・ そして期待した目で いつも いつも とても優しい目だったよ いつも正面から見てくれたね。お母さん 悲しい涙光らせて・・・ そしていつも耐えていた ずっと ずっと その姿ずっと忘れないよ そして二人の目を見続けるよ もう人の目を借りないで 勇気を出して見続ける・・・ 二人の正面から見てくれる日 昔からの優しい目だったよ その優しい目

大切にするよこれから

## ■有明高原寮とは

関東甲信越及び静岡県の家庭裁判所において、第1種 少年院送致決定を受けた14歳以上の男子少年のうち、 家庭裁判所で短期間(又は特別短期間)の処遇勧告を受 けた者、及び長野県の家庭裁判所において、第5種少年 院送致決定を受けた者を収容する少年院です。

矯正教育課程として、社会適応課程 I (A1)(出院準備 特別講座)、短期社会適応課程(SA)、短期義務教育課程 (SE)、保護観察復帰指導課程 (P1、P2)が設けられてい ます。

# ■有明高原寮の沿革

大正 8年2月 中房温泉から引湯した温泉旅館を 現在地 に建築

昭和21年6月 司法保護団体「松本少年学院」が少年保 護施設として運営開始(これがNHKラ ジオドラマ「鐘の鳴る丘」のモデルにな りました。)

昭和24年1月 法務省が買い取り、少年院「有明高原 寮」が発足

昭和50年3月 短期処遇課程を開設

昭和55年3月 庁舎改築、家庭寮を新設

平成 3年9月 特修短期処遇を開設

平成19年5月 短期処遇の改編、短期生活訓練課程及び 特修短期処遇における広域収容開始

平成27年6月 短期社会適応課程及び短期義務教育課程

を開設

令和 4年4月 保護観察復帰指導課程Ⅰ・Ⅱ及び社会適 応課程【を開設



# 有明高原寮 ―鐘の鳴る丘―

〒399-8301 長野県安曇野市穂高有明7299番地 TEL(代表)0263-83-2204 FAX 0263-81-5004



# 有明高原寮

-鐘の鳴る丘ー



法務省は、「世界一安全な国・日本」を実現する ため、再犯・再非行防止対策を推進しています。

# ■教育方針

○開放的な処遇環境の下、豊かな自然とそこ に暮らす人々との触れ合いを通じて、人を思 いやり協調する心を育てる。

○個別指導担任と一体となって問題点の解決 に取り組ませ、集団生活を通して主体性・自 立性を養う。

○親子の相互理解を深めさせ、絆を強めるための保護者等参加型の教育を通して、今後の家族関係の在り方を考えさせる。

○学校・職場・院外委嘱指導等の社会資源を 積極的に活用させ、具体的な生活設計を確立 させる。

# ■年間行事

	早春賦音楽祭
春	春の遠足
	全体社会貢献活動
	全体社会貢献活動
夏	登山(蝶が岳、燕岳)
	盆踊り大会、水泳大会
	鐘の鳴る丘運動会
秋	秋の遠足、収穫祭
	全体社会貢献活動
	クリスマス会
冬	三九郎 (どんど焼き)
	スキー教室

## ■有明高原寮の教育及び社会復帰支援

#### 自己の問題を見つめる教育

個別面接、課題作文、特定生活指導、自治集会、 犯罪被害者や出院者自助団体等による講話、 マインドフルネス、アンガーマネジメント、 いろり端集会(BBSとの意見交換会)等



温泉カウンセリング



自治集会

#### 心を豊かにする教育

音楽祭への参加、登山、野外活動、意見発表会、 クラブ活動(美術、音楽、書道、ギター)、 社会貢献活動、季節の行事等



市民音楽祭



登山

## 親子の絆を強くする教育及び支援

(教育) 個別面接、課題作文、自分史、内観等

(支援) ふれあい通信(電話面会)、保護者会、 親子合宿、家族カウンセリング等



親子合宿



ふれあい通信 (電話面会)

## 社会定着につなげる教育及び支援

(教育) 職業生活設計指導、職業講話、院外委嘱教育 製品企画科 (アグリコース、クラフトコース) 等

(支援) キャリアカウンセリング、支援会議、 高等学校卒業程度認定試験、SIB事業等



製品企画科アグリコース



協力雇用主による講話